

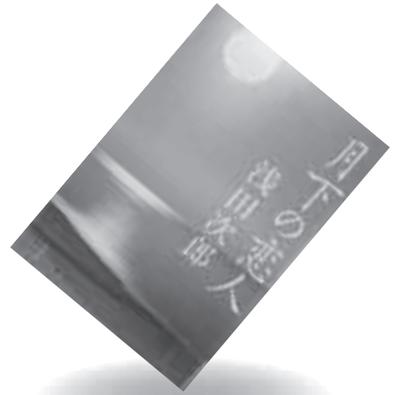
町立図書館おすすめBOOK

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500

恋人と別れるつもりで出掛けた海辺の旅館で起こった奇跡を描いた表題作、昭和を舞台にアパートの隣の部屋に住む駄目ヤクザを描いた「風蕭蕭」など、11の短編を収録。名手が5年の歳月をかけて書き綴った、心をほぐす物語。



月下の恋人

浅田次郎 著

町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

散るぞ悲しき

梯久美子 著



東京を、日本を、空襲から守るために、玉砕を拒んだ総指揮官がいた。軍人として父として命の一滴まで戦い、智謀を尽くした戦略で「米国を最も恐れさせた男」の姿を、家族への手紙とともに描く人物伝。

長島文芸

明神俳句会

鳥賊舟の水尾それぞれにある晩夏	平山 風鳥
足湯して島の温泉こぼれ萩	大堂 早苗
花すすき天草は早や灯を点し	平山 勝子
風止みて山柿照りし里の山	関 佳代美
逢えぬ日や雨月の窓に立ち尽くす	浦田 真美
外向きに履物そろへ乱れ萩	二階堂妙子
鼻歌も矢張り音痴に秋日和	筑前 初市

長島短歌会

台風の去りて静けき部屋ぬちを	波戸内美佐保
十六夜の月おぼろに照らす	
夕茜して細波の寄す	浜田美代子
畦ににじむ泪の如くかがやきて	
彼岸花の芽の黄はいさぎよし	浜畑 松枝
風に落ち踏みしだかれし桜葉は	
花咲く春に土にもどらむ	林 ヒロ
台風ねじふせられしコスモスは	
茎低くして満開の季	町田キクエ
橋梁の上より眺むる黒の瀬戸	
渦巻く潮に光射す午後	松元 睦子

皇孫の生まれ給ひてゆるぎなし	吉田 映子
瑞穂の国の栄えゆくらん	
ゆり返す地震の如きわが体	
癒ゆる日ありや定かにあらず	岩富八代子
畦に満ち稲田を囲む彼岸花	
秋風立てば共に熟れゆく	岩下 ちえ
心難き老人なりと定め居し	
人の笑顔は温もりに満つ	米尾 和子
台風の過ぎたる夜半の赤き月	
ひとり住いのわが部屋照らす	長野 敬
水タンク積みてトラック行き交ひぬ	
日照りつづきの畑作農家	中山タマエ